

## 静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO 2020-43 JGOG1085S「子宮頸癌に対するメトホルミンの有効性についての後方視的検討」
当院の実施責任者 研究及び職名	産婦人科 副部長 市川 義一
他の研究機関および 各施設の研究責任者	研究代表者 新潟大学大学院医歯学総合研究科 家族性・遺伝性腫瘍学講座（産科婦人科） 西野幸治  特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）子宮頸がん委員会および JGOG 登録参加施設
研究期間（西暦）	子宮頸癌Ⅱ期～ⅣA期で、2015年1月1日—2015年12月31日までの1年間に放射線療法または化学放射線同時療法を受けた方と、子宮頸癌ⅣB期または再発・残存に対し、2016年5月23日—2017年12月31日までの約1.5年間に、ペバシズマブを含む全身化学療法を受けた方を対象としています。
研究の目的	本研究は、JGOG（特定非営利法人・婦人科悪性腫瘍研究機構；Japanese Gynecologic Oncology Group）参加施設において過去に治療を受けた子宮頸癌患者さんを対象として、糖尿病の合併の有無と、糖尿病薬としてのメトホルミン使用の有無を調査することにより、子宮頸癌の治療に及ぼすメトホルミンの影響について検討することを目的としています。  メトホルミンは、中世の時代から糖尿病治療に用いられている内服薬です。近年、糖尿病だけでなくがんの治療にも効果があることが分かってきており、実際にメトホルミンを服用して

	<p>いた方は子宮頸癌のリスクが低下したという海外の報告もあります。また、現在各種のがんに対してメトホルミンを投与する臨床試験が進行中ですが、子宮頸癌に関するデータは乏しいのが現状です。</p> <p>子宮頸癌は、アジアやアフリカ等の発展途上国に患者さんが多く、経済的・設備的な事情により、高額な治療は受けられない患者さんも多くいらっしゃいます。メトホルミンは、比較的安価で安全性が高く、糖尿病治療に広く用いられている薬です。もしメトホルミンの投与が子宮頸癌治療に有効であれば、安くて安全な薬を、日本だけでなく発展途上国でも子宮頸癌治療に利用できるようになるかもしれません。</p> <p>そこで、まずは過去に子宮頸癌の治療を受けた患者さんについて、糖尿病合併の有無やメトホルミン使用の有無により、子宮頸癌の治療成績がどう影響を受けていたかを調べる研究を計画しました。</p>
<p>研究の内容</p>	<p>【研究方法】</p> <p>JGOG 参加施設で過去に治療を受けた宮頸癌患者さんの以下のような診療情報を集積し、メトホルミンという糖尿病薬が、子宮頸癌の治療にどう影響しているかを調べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診断時の年齢・身長体重・病歴など</li> <li>・ 糖尿病合併の有無・メトホルミン使用の有無など</li> <li>・ 子宮頸癌の診断日・進行期・病理診断（組織型・リンパ節転移の有無など）など</li> <li>・ 子宮頸癌の再発の有無・再発日や再発部位など</li> </ul>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>この研究は、過去に治療を受けた患者さんのデータを解析する疫学研究です。したがって、研究対象となる患者さんに新たに検査や治療を求めるものではなく、新たな身体的負担や不利益を生じる可能性はありません。また、かなり前に治療を行われた患者さんに対する説明は、現実的に難しい場合も多いと考えられます。この研究への同意を必要とするか否かは、各施設の倫理委員会の判断に委ねられており、当院においてはオプトアウト（研究内容を公開し、診療情報などを研究目的に利用または提供されることを希望されない場合に申し出ていただく形）での研究施行が承認されております。</p>

	<p>本試験に関係する文書は、JGOG および研究施設等のホームページ上にて公開しています。</p> <p>JGOG URL : <a href="http://www.jgog.gr.jp/index_J.html">http://www.jgog.gr.jp/index_J.html</a></p> <p><b>【外部への試料・情報提供について】</b></p> <p>本研究は、韓国 Korean Gynecologic Oncology Group (KGOG) と共同で行う国際共同研究です。研究機関および JGOG/KGOG 事務局へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。患者さん個人とデータおよび試料とを連結するための対応表は、当院治験管理室が責任をもって保管・管理し、外部への提供は行いません。また、患者さん個人とデータおよび試料とを連結するための対応表は、韓国 KGOG には提供しません。</p>
問い合わせ先 (拒否等受付窓口)	<p><b>【研究担当者】</b></p> <p>所属：静岡赤十字病院 産婦人科 氏名：副部長 市川 義一 住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2 電話：054-254-4311</p>